



広報

みなみ

MINAMI Vol. 136

題字揮毫 加賀谷 雪泉



竜雲津に躍る

校長 白戸 爾



本校の、通称「シンデレラ階段」を上っていくと、二階から三階へ行く途中に「竜躍雲津」と書かれた大きな縦額が左壁に掲げられています。三年生の諸君は、登下校または授業の移動の際に目に留めたことがあると思います。でも、なぜこの額がここに掲げられているのか考えたことはあったでしょうか。

この「竜躍雲津」という熟語は『世説新語』が出典で、「竜雲津に躍る」(りゆううん、うんしんにおどる)と読み、竜が雲の間を抜けて勢いよく舞い上がっていくということから、「他の人よりも一際すぐれた才能があること」を意味する言葉だとされています。書字自体にも雄大さと力強さが見られ、まさに竜の昇天の勢いをそこに感じ取ることができる素晴らしい縦額となっています。

さて、この「竜躍雲津」がもつ意味を踏まえ、シンデレラ階段のあの場所になぜ掲げられているのか、南高生ならばきっと理解してもらえるものと思います。文字通り、南高生の素晴らしい資質・能力が威嚇なく発揮され、社会に貢献する人材になってほしいという願いが込められているのですが、三年生がよく通るあの場所に縦額が掲げられているのは、特に三年生の諸君に向けた激励のエネルギーなのだと私は感じています。

これからの人生を希望をもって主体的に切り拓いていく三年生の諸君には、文字通り、竜が如く、勢いよく運津にまで駆け上ってほしいと思います。そして社会や地域に貢献できる唯一無二の人材となってくれることを心より期待します。結びに、皆さんの前途に幸あらんことを祈念し、欄筆します。

雪の中で花を咲かせろ

教頭 金谷 克憲



55回生の諸君、卒業おめでとう。

振り返

れば楽しかったこと、悩んだことなど様々思い出されることでしょう。卒業の節目を迎えるいま、家族に支えられてこの日を迎えることができたことに気づき、素

直な感謝の気持ちもわき上がったことだと思えます。高校を卒業してすぐさま自立した生活をする生徒は多くはないと思いますが、今までは違う社会人としての自覚が求められます。

「あすなろう、明日ひのきになろう、という名もけなげである。厳寒が、開花期である。ひば材の堅牢さ

は、このような寒さにきたえられるためである。人間の都合のひとり前になるための努力、それは雪の中で、花を咲かせるいとなみに似ていると思う。」

3年次主任 三橋 敬勝



ご卒業、おめでとうございませう。保護者の皆様におかれまして、ご息

ご令嬢の晴れの日を迎えられて、喜びもひとしおのことと存じます。三年間、南高の教育活動、PTA活動にご協力をご理解をいただき、この場を借りてお礼申

し上げます。ありがとうございました。さて、55回生の皆さんと三年間苦楽をともに過ごせたことに感謝します。笑ったり、怒ったり、傷ついたり、時には真面目に過ごした高校生活もあつという間に終わりました。この三年間で出会った人に感謝し、人を敬い、たくましい人間に成長して欲しいと願うばかりです。自分

勝手な行動や言動を行わない為にも、自分の考えを尊重するだけでなく、周囲にも目を向け、気遣い、その隠れた背景を考

異なるかもしれませんが、「幸せ」になって下さい。心が変われば運命が変わります。これからの人生のご健闘と今後益々のご活躍をお祈りします。

卒業生のみなさんへ

3年次委員長 對馬真理子



55回生のみなさん、ご卒業おめでとう

とうございます。南高校で過ごした貴重な三年間が終わり、春からは、それぞれ新しい生活が始まります。

受験をはじめ、いろいろな経験が、皆さんの大きな自信となることでしよう。高校生活での経験を活かし、希望を持って未来へ羽ばたいて下さい。

卒業おめでとう

31 HR 担任 榎 理



九月中旬、検診のために病院へ行った次の予約を尋ねた医師に対して、時間が

なかなか取れないと話す時、医師は「忙しい時期ですよ」と返答した。職責からの言葉かもしれないが、同意してくれたその一言で、心がかんり軽くなった。二年間クラスでは、厳しい言葉が多かったと思う。正しいかどうかは分からないが、少しでも成長して卒業させることが担任としての責任だと思つてやってきました。優しく楽しく毎日過ごせれば良かったが、無責任な優しさになると思ひ、できなかった。これから社会に出れば多くの役割や責任がある。自分なりに責任を果たし活躍して欲しい。他人と比べなくてもいいので、自分を納得させられる幸せをつかんで欲しい。卒業おめでとう。

今が一番

32 HR 担任 工藤 聡



私は「今が一番」という言葉が好きである。先日、学級

のある生徒の感想文を読んだら、「小中高と過ごした中で、高校が一番充実した」という内容であった。彼は本当に頑張り屋であり、そんな彼が南高校で今を精一杯生きることができたのだな、と思うと担任として嬉しい気持ちでいっぱいになった。私は最後の言葉として皆さんに言いたい。どんな状況でも、辛いことがあっても、今を精一杯生きて「今が一番」と言えるような人生を送ってほしいと願っている。卒業おめでとう！

贈る言葉

33 HR 担任 寺内 清裕



「あのころの自分より、今の方がずっと若いさ。」

今から十年後、二十年後、三十年後、いや五十年後であっても、そんなふうに見える人は素晴らしいと思います。高校生活の三年間が、人生の中で、最も若々しく、輝いていた時代だった、というのも悪くはありませんが、少々寂しい。固定観念にとらわれず、常に若々しい好奇心を持ち続けて、何歳になっても「あのころの自分より、今の方がずっと若いさ」といえる人になってください。



五十五回生の卒業生へ



栄えあ
55回生の皆さん
ご卒業おめでとう

思い出せば三年前、皆さんは高校受験生でした。不安と焦りの中、入学試験を迎えたことと思います。晴れて合格してから三年間、皆さんは高校生活の中から何を学んだでしょうか。
皆さんはこの弘前南高校

今の瞬間を大切に



三年生の皆さん
ご卒業おめでとう

す。今年一月のカレンダーに「今の瞬間を大切に生きることが素晴らしい未来を生み出していく」という言葉が載っていました。私の心に深く残ったの

自分だけの物語



55回生の皆さん
ご卒業おめでとう

す。南高校での高校生活はいかがでしたでしょうか？
いかが終わるといふことは、南高校での高校生活を終えた

錫杖会会長 油川 安孝

で、得難き時を過ごし、得難き沢山の友と出会ったと思えますが、これからは甘えの許されない厳しい現実が待っています。これまで多くの方々から多くのものを与えられてきた皆さんですが、これからは自分の力で、勇気と智慧と努力で未来を切り拓いていかなければなりません。その為にも新たな目標をしっかりと持つことが大事です。
私の好きな言葉の一つに、「初心忘るべからず」があり

育励会代表理事 尾崎 寿一

でそのまま卒業される皆さんに送りたいと思います。
今の瞬間というのは過去と繋がりがから未来へ際限なく続いていっています。今の瞬間を大切に生きるというのが「これだ」と決まったものがあるわけではありませんが、今を大切に最善の努力をして一日を終えよう」と意識し過ご

PTA会長 木村 周平

皆さんには、これから先、それぞれが選んだ道の新たな何かが始まります。これから始まる新しいことや、分からないことを恐れることはありません。「文武両道」の校是の下で学び得た、知識や経験をフル活用し何事にも自信を持ってチャレンジしてみてください。
人生を物語に例えると、皆さん

ます。迷ったとき、困ったときは、世の中に出る原点になる、この高校生活を思い出し手ではないでしょうか。必ずや正しい方向が選択されるはずですよ。
卒業後の皆さんとの繋がりは「錫杖会」を通してになります。毎年七月に総会を開催しています。ホームページにも掲載されますので、是非参加して下さい。是非参加して下さい。

していくことによつて自分の目標や方向性がみえてくるように思います。そしてそれは迷いのない、流されない、確固たる道となつて素晴らしい未来へと歩ませてください。今を迷つて人こそ今の瞬間を大切に一日一日を意識して過ごして生きてください。素晴らしい未来となるでしょう。

んはまだまだ序盤の段階であり、これから先の時間にかけて、自分だけの物語を作り上げてください。南高校で培ったすべてのことを糧に、最高の自分だけの物語を作り上げてください。これからの55回生皆さんの活躍を、PTA一同心より願ひ、応援しております。

努力の尺度



頑張ったのうまく
いかなないと
挫けてしま
うことがあ

るかと思う。でも、その「頑張った」は自己評価であり、自分勝手に線引きしたものだ。普段運動を全くしない人と、普段から腕立て1000回できる人の腕立て1200回では「頑張った」の尺度は違うはずである。自分の「普通」を高めておけば、「頑張れる」度合いも必然的に上がるものだ。進路目標を達成するためには、相手から求められる高さに到達するための「普段」を高めることが大切だ。

出会いを大切に



世界に何十億人の人間の中で、自分が
一生のうち

に会える人って何人くらいだろう。その中でも、挨拶を交わせる人は？悩みを共有しあえる関係になつた人は？と考えていくと、今、そばにいる人たちは、本当に尊い存在だなんて思う。今までも、これから出会う人も大切に。そうしていると自分も大切にしてもらえる。55回生は優しい生徒がたくさんいて、心がほっこりする思い出をたくさんもらいました。ありがとう！みなさんの幸せを心から願っています。

贈る言葉



皆さん卒業おめでとう
贈る言葉は「覚悟」と「準備」の二つです。勉強や部活動SSHの活動等でたくさん困難なことにぶつかった皆さんならわかると思いますが、何か物事を成し遂げるには覚悟が必要で、覚悟がある人は反省はしますが言い訳はしません。物事がうまくいかないときは周囲のせいにはせず、自分が今できることを精一杯行い、万全の準備をして物事に挑戦していただく。皆さんが高校生活を通じて培ったものを今後の人生でも十分に発揮し、活躍してくれることを願っています。

34 HR 担任 太田 暁介
35 HR 担任 木村 歩
36 HR 担任 岡部 晋也



修学旅行

令和元年10月1日から5日まで、2年次生は4泊5日の修学旅行へ行ってきました。京都・奈良・大阪を訪れ、歴史や文化に触れ見聞を広め、仲間と大いに楽しみました。



文化研修会

令和元年10月19日(土)、Swing Hat Hallにて第2回



PTA文化研修会「音楽の夕べ」と題して、「百石粋族館」によるJAZZコンサートが開催されました。素晴らしい演奏に会場も盛り上がり、楽しい夜を過ごしました。

進路対策委員会

令和元年12月14日(土)本校生徒会館にて、PTA進路対策委員会主催の進路研修会を行いました。「現2年次生から始まる大学入学共通テスト(新テスト)と現行の大学入試センター試験との相違点と本校の指導とスケジュール等」について本校進路指導部主任 工藤温志先生からお話があり、その後保護者の方々とQ&A方式で進行しました。アンケートに書いていただいたご感想を一部ご紹介します。

- ・今回の研修はとても参考になりました。わかりやすかったです。疑問に思っていることも解消されました。
- ・大変参考になりました。自分が気付かない所を他の保護者が質問し、いろいろわかりました。



・受験制度が次々に変更になり子供も学校も大変かと思いますが、また新たに決まった事などがあれば、このような研修会を開催していただければ助かります。

遠足



令和元年10月3日(木)、1年次は長平青少年旅行村へ、3年次は三内丸山遺跡と青森観光物産館アスラムへ遠足に出かけました。自然に親しみ、仲間と親睦を深め、今後の学校生活の活力を蓄えました。



卒業生に贈る言葉



贈る言葉

文化委員長 藤田 幸子

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、これからそれぞれの道に向かって進んでいきます。スタート地点が違って、自分の夢(目標)に向かって自分で自信をもって進んで下さい。走ったり、立ち止まったり、つまづいたり迷ったりしても皆さんのまわりには今までも、これからも見守り応援している先生や友達、家族がいます。たくさんの事を経験し、いろいろな事を学び夢を実現してください。



生き抜く力

進路対策委員長 佐藤 千秋

55回生の皆さん、卒業おめでとうございます。勉強、部活、課外活動など頑張ってきた事と思います。その様々な経験で「生き抜く力」を身につけたのではないのでしょうか。

ネット社会で人との会話が無くても済む時代ですが、人との繋がりはとても大事です。出会いを沢山作って欲しいと思います。その繋がりが将来困難になった時、きっと役に立つでしょう。

「生き抜く力」をもっと身につけ、なりたい自分の将来の為に頑張ってください。だって人生は一度きりだから!

SSH タイ王国海外研修報告

令和二年一月八日
 十二日の四泊五日
 の日程で、26HR
 SSHクラスの男子
 六名・女子五名が参
 加して、タイ王国で
 海外研修を実施し
 た。目的は、現地の
 高校生との交流や、
 課題研究の成果を発
 表することで、国際
 的なコミュニケーション
 ション力を磨くこ
 と、現地でのフィー
 ルドワークや企業
 大学訪問を通じて、
 科学における国際的
 な視野を深めること
 である。

青森空港から、韓国仁川
 国際空港を経由して、真夜
 中にタイに到着した。二日
 目は、Assumption College
 Thonburiを訪問した。生

令和元年十二月六日、本
 校でスーパーサイエンスハ
 イスクール事業における生
 徒課題研究の成果発表会が
 行われ、これまでの課題研
 究の成果を広く校内外に
 知ってもらう機会となっ
 た。助言者としてSSH運
 営指導委員にお越しいただ
 き、研究内容に対して、「失
 敗を活かして研究する大切
 さ」「研究の意義を考える」

SSH 課題研究発表会

徒たちは寝不足と緊張から
 最初は表情が硬かったが、
 タイの高校生の温かい反応
 を受けて徐々に表情が明る
 くなり、予定時間を少し
 オーバーして課題研究の発
 表を終えた。その後日本語
 クラス、STEMクラス生
 と交流をして、最後には賑
 やかに談笑する姿が見られ
 た。三日目午前中にJICA
 Aタイ事務所を訪問し、J
 ICAの活動やタイでの支
 援活動についてお話を聞き、
 タイが発展途上国ではなく、
 先進国に近づきつつある現
 状を学んだ。午後に、泰日
 工業大学を訪問して、課題
 研究の発表を行い、大学の
 先生方から講評を頂いた。
 四日目は、シリントーン国
 際環境公園でのマングロー
 プ林観察を行った。エビ養
 殖のために荒廃したところ

「論理的思考」等の助言を
 いただいた。また、県内の
 高等学校の教員や保護者も
 参加し、本校のSSHに対
 する理解がより深まったと
 思われる。
 各班の発表後、研究内容
 について審査を行った結果、
 最優秀は5班「プラナリア
 の自切について」が選ばれ
 た。この研究は、令和二年
 八月に神戸で行われる「S



SSH生徒研究発表会（全国大会）への参加が決定している。

発表テーマ一覧

班	分野	研究テーマ
1	物理	紙飛行機をより速くへ
2	物理	Arduinoを用いた車椅子の電動化
3	化学	色素増感太陽電池の微細構造による影響
4	生物	タデアイの抗菌活性
5	生物	プラナリアの自切について
6	生物	イネ「赤穂」の由来
7	地学	弘前南高校の地震計でとらえたノイズ波形
8	数学	皮むき器でむいたりんごの皮の形状に関する数学的考察
9	数学	素数の現れ方の規則性 ～素数定理について～
10	情報	宇宙エレベーターロボットと応用の可能性

令和元年度 部活動の記録

- ◆弓道部
 - 秋季県下高等学校弓道大会
 - 女子団体 第4位
 - 女子個人 第5位 工藤 里彩
- ◆空手道部
 - 令和元年度青森県高体連空手道専門部秋季大会
 - 女子団体組手 第3位
 - 女子個人組手中量級 第3位 外川 亜依
- ◆陸上競技部
 - 青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
 - 女子 800m 第5位 花田 晴佳
 - 女子 100m ハードル 第6位 樋口 愛里
- ◆硬式野球部
 - 秋季青森県高等学校野球選手権大会
 - 県大会 弘前南2-11青森
- ◆卓球部
 - 青森県高等学校卓球新人選手権大会
 - 男子学校対抗 第3位
 - 男子シングルス 第3位
 - 男子ダブルス ベスト8
 - 女子シングルス ベスト16
 - 女子ダブルス 青田 倫空
- ◆サッカー部
 - 令和元年度第56回青森県高等学校サッカー新人県大会
 - 県大会2回戦 弘南1-2青森南 ベスト16
- ◆水泳部
 - 第59回青森県高等学校新人選手権水泳競技大会
 - 女子 200m 背泳ぎ 第3位 長内 結杏
 - 女子 100m 背泳ぎ 第4位 長内 結杏
- ◆写真部
 - 第40回青森県高等学校総合文化祭写真部部門
 - 最優秀学校賞 阿部 未羽
 - 優秀賞 加藤 萌
 - 優良賞 黒滝 真央
 - 優良賞 木田 隼
 - 優良賞 高木 玲奈
 - 優良賞 有馬 佳歩
 - 優良賞 吉崎 莉桜
- ◆書道部
 - 第40回青森県高等学校総合文化祭書道部部門
 - 最優秀賞 高木 玲奈
 - 優秀賞 加藤 萌
 - 優良賞 太田 朋花
- ◆文芸部
 - 第40回青森県高等学校総合文化祭文芸部部門
 - 散文の部
 - 優秀賞 盛 ひなた
 - 優秀賞 盛 ひなた
 - 優秀賞 小山内桜花
 - 詩の部
 - 優秀賞 成田 星来
 - 優秀賞 星来
- ◆放送部
 - 第40回青森県高等学校総合文化祭放送部部門
 - アナウンス部門 優秀賞 成田 星来
 - ラジオ番組部門 優良賞 星来
 - テレビ番組部門 優良賞 星来